

平成28年6月吉日

## 第59回奥州インディアン旗野球大会要綱

公益社団法人水沢青年会議所  
理事長 浅間光将  
実行委員長 小野寺忠徳

1. 主催 公益社団法人 水沢青年会議所
2. 主管 第59回奥州インディアン旗野球大会実行委員会
3. 後援 奥州市・奥州市教育委員会・奥州市野球協会（水沢区野球協会）・  
奥州市水沢青少年育成市民会議
4. 大会役員 大会会長 (公社)水沢青年会議所理事長 浅間光将  
実行委員長 (公社)水沢青年会議所 小野寺忠徳
5. 趣旨

本大会は、青少年健全育成の一環として奥州市の小・中学校生徒に野球大会の機会を与え、体力・技能の向上と、スポーツおよびボランティア精神の高揚をはかり、心身ともに健康な生徒を育成するとともに、スポーツの交流を通じて地域のコミュニティの活性化に寄与する。

6. 会場 水沢公園野球場 岩手県奥州市水沢区中上野町1

7. 日 程

(イ) 公開抽選会 9月11日(日) 奥州市Zホール 10:00～

(ロ) 公式練習会 9月25日(日) 水沢公園野球場 9:00～

(ハ) 大会期間

10月1日(土)・2月(日)

【予備日】10月16日(日)

(ニ) グランド準備

9月30日(土) 午後3時 水沢公園野球場

(ホ) 開 会 式

10月1日(土) 午前8時

(午前7:30迄に水沢公園野球場一塁側スタンド裏

(ヘ) 試合開始 集合、雨天の場合は順延)

10月1日(土)

水沢公園野球場

A・B・C・D 8:45～

(ト) 準決勝・決勝 10月2日(日) 水沢公園野球場

準々決勝 9:00～

準決勝 10:40～

決 勝 13:30～

8. 参加料 1チーム 12,000円

9. 申込及び締め切り日

郵送又はFAXにて 8月21日(日)迄にお申し込み下さい。

選手名簿、チーム集合写真、参加料は9月11日(日)、公式組合せ抽選会会場にご持参下さい。

尚、大会プログラムに選手名・学年のみ記載させていただきます。

## 10. 公開組合せ抽選会

日 時 9月11日(日) 午前9:30～11:40

場 所 奥州市文化会館Zホール(中ホール)

参加者 主将及びそれに準ずる者を含め、希望者全員参加可能。

(出席者はユニホーム着用も可。)

内 容 抽選、質疑応答、組み合わせ結果の配布

## 11. チーム編成及び出場資格

(イ) 選手は必ずスポーツ傷害保険等に参加すること。

\*未加入の場合、事故が発生しても責任は負いかねます。

(ロ) チーム編成は、基本として行政区単位に1チームを編成する。ただし、生徒数の都合で近隣の2行政区以上1チームを編成することも出来る。ただし、大会趣旨を踏まえ、合併は隣接している行政区同士のみとする。また、合併した場合にはプログラムに行政区を明記する。1行政区に2チームの出場を認める場合もある。これらの場合は7月30日(土)迄に、主催団体に届出、実行委員会にて合併申請許可の審査を受けること。

(ハ) 選手は、奥州市内の行政区に住民登録している者に限る。

(ニ) 資格上特別の事情のある選手は、申込時に主催団体に届出、その許可を受けてチーム編成することもある。

(ホ) 登録選手は20名以内(背番号をつけた者)とし、監督1名、大人2名(コーチ含む)のベンチ入りを認める。登録選手以外は出場できない。

又、中学生の登録人数は制限を設けない。

(中学生は一年生まで登録可能とする。)

(ヘ) 試合出場選手は小学生7名以上、中学1年生2名以内とする。

(ト) 投手は小学生に限定する。

(チ) 補助員は試合中の各チームから必ず2名出すこと。(父兄でもよい)

(ファールボールの球拾い、その他)


(リ) 行政区2チーム出場の場合ブロックシードをする

## 12. 試合方法

(イ) トーナメント5回ゲームとする。

(ロ) 3回まで必ず戦う事とする(1選手必ず1回打席に立たせたい為)初戦から準決勝までは70分打ち切りとする。決勝戦に限り7回ゲームとする。

(準決勝までの試合で70分以内に新しいイニングに入った場合、70分

- を越えてもその裏のイニングまで行う。)
- (ハ) コールドゲームの成立は、3回を終わって10点差、又は4回を終わって7点差とする。
- (ニ) 試合は3回を終わって降雨、日没の場合は成立とする。
- (ホ-1) 5回終了時同点の場合、又は時間切れ同点の場合、下記の特別ルールを摘要する。
- i : 1回限りの延長を摘要する。
  - ii : ルールはワンアウト満塁から始め、ランナーは前の回の最後のバッターから3名とし、バッターは、前の回の次の打順から始める。  
例) 5回に9番バッターが最後であれば9番が1塁、8番が2塁、7番が3塁走者としてたち、1番から攻撃を始める。
  - iii : バッターやランナーの配置ミスをなくすため、攻撃に入る前に守備側の監督と審判が間違いないか確認をとり、プレーを開始する。  
(以後のクレームは受け付ない)
  - iv : それでも同点の場合は、抽選とする。
  - v : 抽選の方法は公平を帰す為に、封筒を18枚用意し、その中に9枚分当りを用意し、当り数が多いチームを勝者とする。
- (ホ-2) 決勝戦は7回までとし、終了時同点の場合、特別ルールを適用し勝敗が決定するまで行なう。
- (ヘ) i : 一投手の1日のイニング数は制限しないが、子供の体調を考慮して投球させること。  
ii : 試合時間短縮の為、練習投球数は初回5球、2イニング目以降は3球とする。但し、ピッチャー交替の場合は5球とする。
- (ト) 試合開始予定の30分前迄には所定のグラウンドに集合すること。  
これに反すれば棄権とみなす場合がある。(前の試合が早く終わる場合もあるので、責任者は注意すること。)
- (チ) 金属製スパイクの使用禁止。(ゴムイボは可)
- (リ) ソフトボール用のバット使用禁止。
- (ヌ) 使用球 2016年度規格  のC球ボールとする。
- (ル) 試合の服装は野球に適したもので、帽子は必ずかぶること。
- (ヲ) 攻撃側のチームは必ずヘルメット使用のこと。  
(打者、走者、コーチャー、次打者)
- (ワ) 捕手はヘルメット、マスク、プロテクター、レガースを着用すること。
- (カ) 試合上のトラブルは、審判に一任する。
- (ヨ) 審判に抗議する時は、チーム監督者のみとする。
- (タ) 代打、代走は、小学生には小学生、中学生には小・中学生を出すこと。

もし、違反した場合は1アウトとする。

(レ) 資格上の不正出場があれば、主催団体の確認があって敗戦とする。

(抗議事項) 抗議は、次の試合開始前までとする。

(ソ) マウンドまでの距離は、全日15mとする。(但し、審判の判断に一任する。)

(ツ) 雨天時の試合の成否は、主催団体一任とする。

(ネ) 落雷の危険がある場合は、本部の判断にて試合を中断する。

その他2016年度全日本軟式野球連盟少年ルールに準ずる

(ナ) 緊急地震速報が発信された際は、ボールデットにて試合を直ちに中断する。

### 1 3. 表 彰

(イ) 団体の部 優勝、準優勝、第三位 (2チーム)

(ロ) 個人の部 最高殊勲選手賞、敢闘賞、打撃賞、ダイヤモンドグローブ賞  
優勝監督賞、理事長賞、大会実行委員長賞、

### 1 4. お 願 い

(イ) 子供の健康のため1チーム複数の投手を必ず養成して下さい。

(ロ) 練習は学業に支障のないよう注意して下さい。

(ハ) 会場への往復は交通ルールをよく守り、事故に充分注意して下さい。

(ニ) 父兄の応援は、子供たちの励みとなるような心づかいをお願いします。

(きたない野次、罵声は言語道断。尚、太鼓・ラッパは使用禁止とします。)

(ホ) 監督のベンチ入りの服装については、少年野球を指導するにふさわしい  
服装をお願いします。

(ヘ) 練習試合の際は保護者がついてするようにお願いします。

(ト) 各チーム共、練習後・試合後のグラウンド整備、清掃を必ずお願いします。

(チ) グラウンド内での喫煙、飲食は厳禁とします。

(リ) 前日のグラウンド準備のご協力よろしくお願い致します。

### 1 6. プラカード

次のサイズに従って各チームで準備下さい。

たて30cm×よこ60cm、棒の長さ1m

\* 要綱に対するお問い合わせは、

(公社)水沢青年会議所 奥州市水沢区東町4 商工会館3F

(TEL 24-2641・FAX 22-6421)へ文書でお願いします。  
メールでの問い合わせ先は

E-MAIL: [room@229jc.jp](mailto:room@229jc.jp)

月～金 9:00～13:00 (土・日は休室となります)

大会要綱、各種申請書を青年会議所ホームページよりリンクいたします。

<http://www.229jc.jp/>